

# 外来種対策の取り組みについて

## 1 外来種の対策における本課の対応

### (1) 普及啓発

Web ページ「STOP! あいちの外来種」で、県内に移入・定着している外来種に関する情報を集約した「愛知県移入種対策ハンドブック」(平成24年)を公表するとともに、外来種の発見情報の提供を呼びかけている。

また、Web ページで、外来生物法に基づく特定外来生物(132種)及び自然環境保全条例に基づき公表している種(28種)の規制内容等について説明し、県民への情報提供、注意喚起を図っている。

### (2) 地域の防除活動の促進


- 支援が必要な市町村に対して専門家を派遣し、防除に係る技術的支援を行う。  
平成28年度：3回(アルゼンチンアリ(2回)、アカミミガメ(1回))  
平成27年度：3回(アルゼンチンアリ)(当年度より開始)
- 市町村等による防除活動を促進するため、外来種対策研修会を開催する(毎年2回)。  
〈内容〉平成28年度：外来魚類、オオキンケイギク  
平成27年度：アカミミガメ、オオキンケイギク  
平成26年度：アライグマ、オオキンケイギク

### (3) 広域的な連携の確立


初期侵入や地域で問題となっている外来種において、関連自治体による外来種対策に係る連絡会議を実施する。(今年度は、クビアカツヤカミキリ、アルゼンチンアリ、ヒガタアシ、カミツキガメについて開催)

## 2 県内の主な外来種


### (1) クビアカツヤカミキリ(特定外来生物に指定予定(7月頃))

特 徴	<p>体長は22-38mmで、体全体は光沢のある黒色をしている。中国、モンゴル、朝鮮半島、台湾、ベトナムに分布。</p> <p>幼虫がバラ科の生木(サクラ、ウメ、モモ等)に食入・加害することで樹木を衰弱させる。</p>	 <p>成虫(植物防疫所原図)</p>
全国の発生地域	7都県(埼玉県、群馬県、東京都、愛知県、大阪府、徳島県、栃木県)	
本県の発生地域	海部地域(平成24年に全国で初めて確認)	
防除状況	<p>宿主となった樹木を伐採することが一番効果的である。その他、侵入の確認された樹木への農薬注入や成虫脱出防止のためのネット巻き付けも対策として挙げられる。</p> <p>それにより、県内では発生地域からの生息域の拡大は防いでいる。</p>	


### (2) アルゼンチンアリ(特定外来生物)

特 徴	<p>体長2.5mm程度で、褐色を有している。南米原産。</p> <p>競争力が強く、本種が侵入すると在来のアリ類はほぼ全滅状態へと追いやられる。また、屋内にも侵入して不快害虫(安眠妨害等)となる。</p>	 <p>(県 Web ページより)</p>
全国の発生地域	12都府県(東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県)	
本県の発生地域	田原市、豊橋市、東海市	
防除状況	<p>殺虫剤(ベイト剤(毒餌)、液剤散布)により駆除を行う。</p> <p>県内の各自治体では、駆除活動を実施しており、生息域の拡大を防いでいる状況である。</p>	

### (3) ヒアリ(特定外来生物)

特 徴	<p>体長2.5mm~6mmで、体色は赤褐色。南米原産。</p> <p>獲物の捕獲、防衛のために毒を有し、針に刺されると火傷のような激しい痛みを襲われる。体質によってはアナフィラキシーショックを引き起こし、死に至る場合がある。その他、在来種の捕食、競合、駆逐が想定される。</p>	 <p>(環境省ホームページより)</p>
全国の確認状況	兵庫県(平成29年5月26日に兵庫県尼崎市南部において国内初確認。その後、6月18日に神戸港で約100匹の生息を確認。)	
本県の確認状況	弥富市(平成29年6月30日に名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル敷地内で、「ヒアリ」の生息を確認、同日記者発表)	
本県及び名古屋港管理組合の対応	<p>中部地方環境事務所と県環境部、建設部、名古屋港管理組合が連携を図り、ヒアリの侵入の水際での防除に万全を期していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鍋田ふ頭コンテナターミナルにおいて緊急調査及び徹底駆除</li> <li>・鍋田ふ頭全域において調査</li> <li>・他のコンテナターミナルにおいて調査</li> <li>・親しまれる施設、緑地等において調査の協力要請</li> <li>・県内の港湾において調査</li> <li>・ホームページ等を活用し、港湾利用者、県民・市民への注意喚起・情報提供の依頼</li> </ul>	

(4) オオキンケイギク (特定外来生物) 駆除等の取り組み

<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キク科の多年草で、北アメリカ原産</li> <li>・5～8月に黄色い花が咲く。</li> <li>・河川敷や道路端などの草地に群落をつくり、在来の植物を駆逐する。</li> </ul>	
<p>駆除等の取り組み</p>	<p>○県による啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「STOP!あいちの外来種」HPにおける駆除活動の公表</li> <li>・河川、道路管理者等への情報提供 (随時)</li> <li>・県内の生態系ネットワーク協議会への情報提供と協力依頼 (随時)</li> </ul> <p>○県による駆除活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県管理の施設 (伊良湖さららパーク) における駆除活動 (企業連携あり)</li> <li>・駆除活動への後援</li> </ul> <p>○市町村による駆除活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度 6市町村で実施 名古屋市、刈谷市、豊田市、小牧市、飛島村、南知多町</li> <li>・平成28年度 10市町村で実施 名古屋市、瀬戸市、碧南市、刈谷市、豊田市、小牧市、日進市、みよし市、飛島村、南知多町</li> <li>・平成29年度 15市町村で実施 名古屋市、瀬戸市、碧南市、刈谷市、豊田市、西尾市、小牧市、大府市、尾張旭市、みよし市、長久手市、東郷町、飛島村、南知多町、幸田町</li> </ul>	